

リスク管理

景気回復基調にもかかわらず売り上げが伸びない、同業他社が次々と新機軸を打ち出しているのに自分の会社は相変わらず低迷している、などの悩みをお持ちの会社が多いのではないだろうか。ヒト、モノ、カネ、ノウハウ、情報などに大きな問題がないのに、社内に活気がない、優秀な社員が辞め、新入社員集めに苦労しているといった症状が見えてきたら、「経営ビジョンと経営計画」の点検や策定が必要なケースがある。羅針盤なき経営のリスク対策としてである。

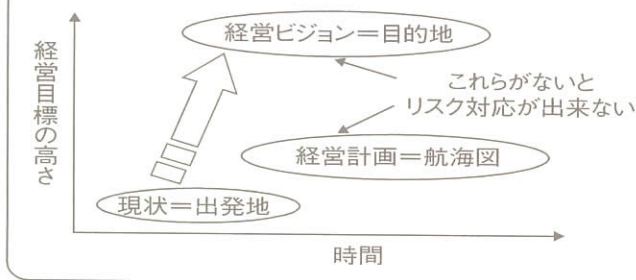
◇ 経営ビジョンは、比較的長期(5年後や10年後)において経営層の考える会社が目指すべき企業像であり、従業員にとっては将来の会社の有り

リスクマネジメント

ABC

羅針盤なき経営のリスク

外部環境変化に対応する経営ビジョン、経営計画の位置付け



様や会社の目指すべき方向性である。また、経営計画は、この経営ビジョンを達成するための道筋を明確にするものである。これらの「経営ビジ

ョンと経営計画」は、マーケット構造、競争環境、社会・法規制、業界動向などの外部環境の大海の中を、会社が進むべき際の「羅針盤」の役割を果たして

いる。

ところが、この羅針盤なしに、その場しのぎで経営を行っていき、意外と多い。この場合、進むべき方向が曖昧であるために、環境変化という突然の高波を受けて、経営者にとっては、経営ビジョンと経営計画を

しまつリスクや次の寄港地が見えないことによる従業員士気低下というリスクを招いてしまつことになる。部門ごとの目標やノルマの達成度合いなどを、厳格に月次管理

策定することは、重要な役割であり重い責任である。従業員とビジョンを共有することで「夢の共有化」をはかることが可能となり、明文化した経営計画によって、従業員個々の役割期待が自覚されて社内に活気生まれくる。また、金融機関や株主、顧客、取引先、連携先などに対する信用力も高まる。

一度、経営診断によって、企業の現状を診断してもらつとよい。経営診断は、個人の健康診断と同様に、市場・社会でのポジション、事業運営、企業風土や社風、従業員のモラルなどの様々な面で、経営ビジョンと経営計画策定や評価の勘所やつばを教えてください。

(日本総合研究所)

荒波に浸水、士気低下も